

# SPANCRETE CORPORATION

## Investors' Guide IR 2022

会社情報



### 防音壁

北陸新幹線の敦賀延伸区間にSpancrete防音壁が採用されました

## 株式会社 スパンクリートコーポレーション

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-8 本郷三丁目THビル5階

Tel:03-5689-6311 Fax:03-5689-6321

[www.spancretecorp.com](http://www.spancretecorp.com)

〈東証スタンダード市場・コード 5277〉

# ● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

## インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

## ■ 2022年3月期について

当社グループの事業環境は、新型コロナウイルスの感染予防により新規契約獲得などの営業活動に制限がかかるうえに、鋼材をはじめとする原材料・燃料価格が急激に高騰するという厳しいものでありました。

このような事業環境の下、スパンクリート事業は、他社製品との価格競争激化による大型案件失注が影響し、売上数量が計画未達成となり営業損失を計上しました。不動産事業は、オフィスビルの3棟の賃料収入により堅実な業績でありました。なお、プレキャストコンクリート事業は、東急建設株式会社との合併事業会社の設立に係る費用負担があるなか、生産余力のある競合先の安値攻勢への対応により販売価格が低迷し営業損失が拡大しました。その他に、経費削減の一環として、昨年9月に仙台営業所を本社へ吸収し、10月に本社オフィスを移転しました。

その結果、売上高2,575百万円、営業損失382百万円、経常損失385百万円となりました。なお、昨年10月に持合株式の一部売却益および元取締役（現代表取締役）が元代表取締役等に提起した株主代表訴訟の和解が成立したことに伴う受取和解金を合わせ、特別利益に116百万円計上しました。一方、研究開発用に2017年に購入した成型機およびスパンクリート事業に係る固定資産等の減損損失78百万円を特別損失に計上した等のことから、親会社株主に帰属する当期純損失274百万円となりました。

## ■ 事業部門別

### <スパンクリート事業>

当事業は、大型物流倉庫の失注、マンション等住宅事業の着工遅延により売上数量が計画未達成のなか、生産体制の見直しによる固定費削減に努めました。しかしながら、鋼線など原材料、電気・燃料、消耗品等の価格の急激な高騰が始まり、これをコストダウンで吸収すべく全員参加型の歩留まり向上、修繕費削減等に取り組みましたが、当売上高は1,947百万円、営業損失250百万円となりました。

なお、販路拡大を目指し「複雑溝成型パネル」の生産技術開発や「超薄物成型」技術開発などに着手しており、継続して取り組んでまいります。

SDGs推進の一環として、宇都宮工場においては、炭酸ガス排出量削減へのデータ整理、LED化を進めております。また、ゼネコンと共同のグリーンイノベーションプロジェクトに参画の方向で詳細を詰めております。

### <不動産事業>

当事業は、賃貸用不動産がほぼ100%の稼働率を維持し、安定した賃料収入を得ております。2020年12月に賃貸用オフィスビル「30山京ビル」を売却し、代替ビルの取得には至っていないことから、売上高は233百万円（前年度比19.4%減）、営業利益111百万円（前年度比4.3%減）と減収減益となりました。

### <プレキャスト事業>

当事業は、岩瀬プレキャスト社の創業初年度、生産余力のある競合先の安値攻勢への対応で販売価格は低迷し、予定利益の確保がままならず、また、同社の本格生産の立ち上がりまでのコストおよびプレハブ建築協会の認定取得経費負担もあり、計画未達による営業損失額が増大し、売上高394百万円、営業損失243百万円となりました。

## ひとこと

コロナ禍による営業活動制限、原材料、輸送費等の高止まりが予見される中、当社は3期連続の営業損失を計上することとなり、株主の皆さまには大変申し訳なく思っております。今期は、営業体制の見直しおよび管理部門の効率化に重きをおき、スパンクリート事業の黒字回復を目指す所存です。

売上数量が伸び悩み、鉄道関係の需要回復まで事業環境は引き続き厳しいと予想されますが、全社一丸となり、この苦境を克服したいと考えております。

株主の皆さま方におかれましては、今後とも当社をご支援ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。なお、今期につきましても、業務執行取締役については、役員報酬を一部返上し務めさせていただきますことをご報告申し上げます。

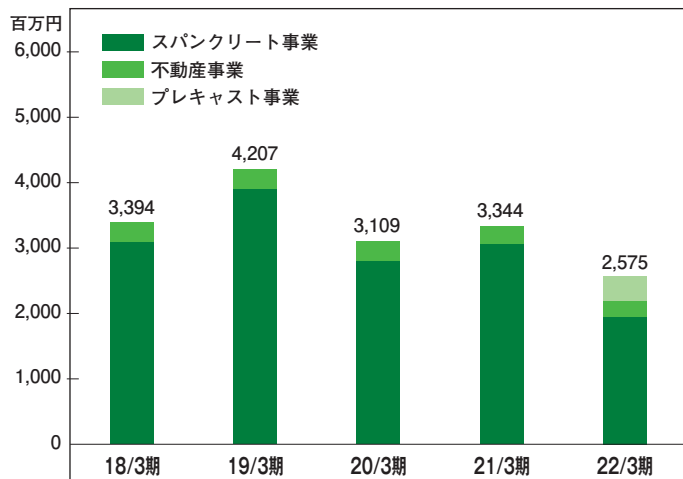
代表取締役社長

木山典子

# 第60期財務ハイライト(2022年3月期)

※2022年3月期末より連結決算へ移行しております。比較のための参考情報として、2021年3月期以前は単体実績を表示しております。

## 売上高

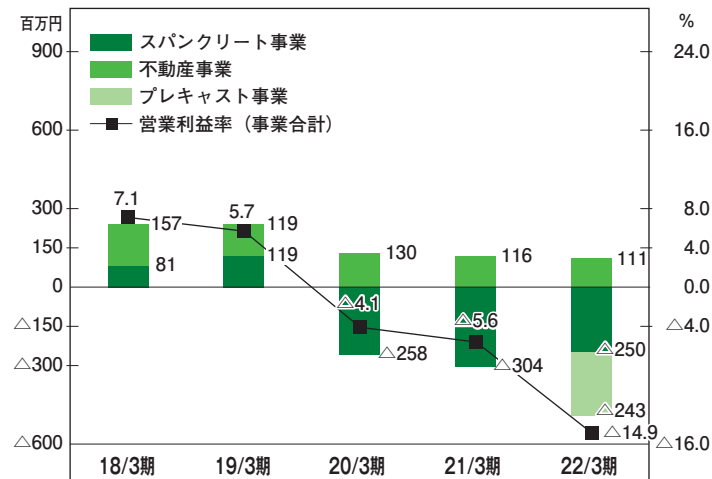


## 損益計算書要旨

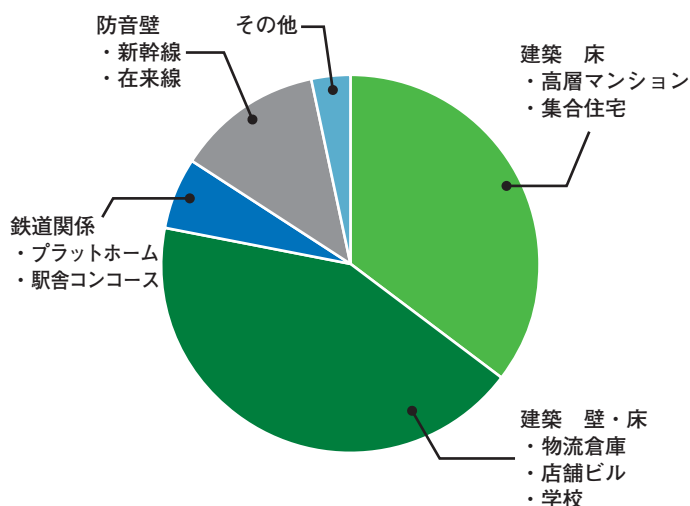
(単位：百万円)

	20/3期	21/3期	22/3期
売上高	3,109	3,344	2,575
売上原価	2,563	2,867	2,418
販売費及び一般管理費	674	664	540
営業利益	△128	△188	△382
営業外収益	35	12	8
営業外費用	13	4	10
経常利益	△106	△180	△385
特別利益	151	995	116
特別損失	—	361	100
税引前当期純利益	44	454	△368
法人税、住民税及び事業税	△0	83	3
法人税等調整額	8	130	△0
当期純利益	36	240	△371

## 営業利益



## 当期売上の用途比率

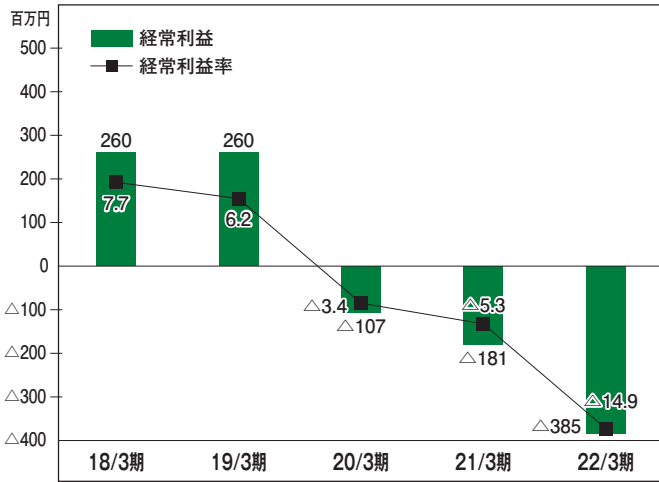


## キャッシュ・フロー計算書要旨

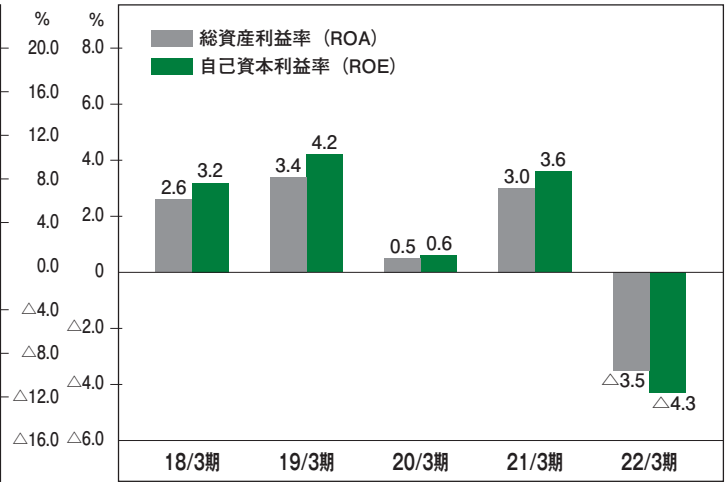
(単位：百万円)

	20/3期	21/3期	22/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	747	△150	△287
投資活動によるキャッシュ・フロー	163	1,068	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△62	158
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額	771	856	△102
現金及び現金同等物の期首残高	1,036	1,808	2,664
現金及び現金同等物の期末残高	1,808	2,664	2,562

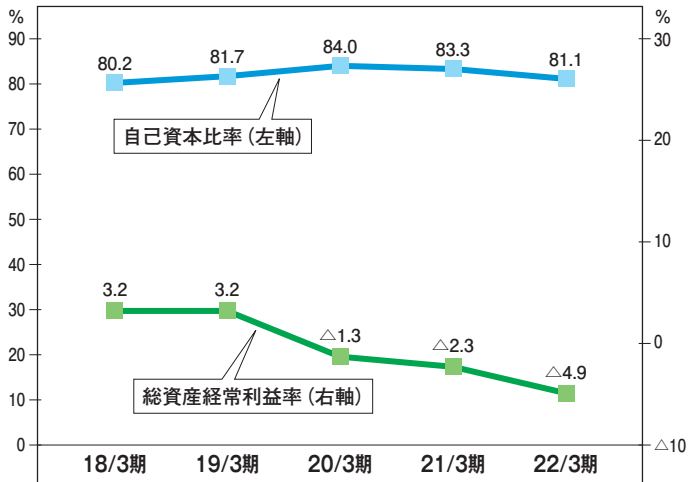
### 経常利益



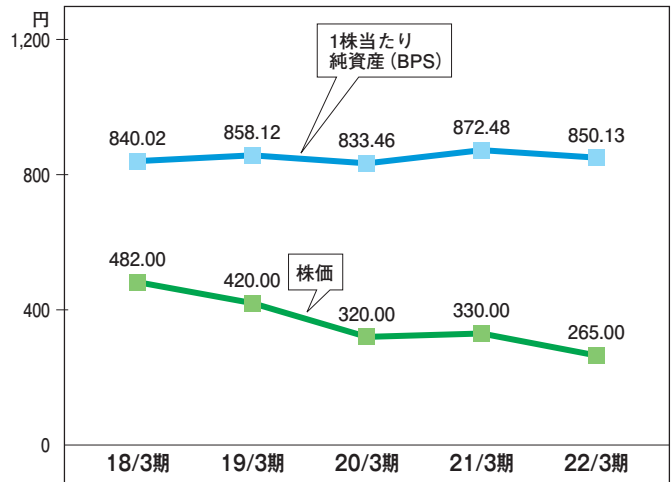
### 総資産利益率・自己資本利益率



### 自己資本比率と総資産経常利益率



### 株価と1株当たり純資産 (BPS)



### 貸借対照表要旨 (資産の部)

(単位: 百万円)

	20/3期	21/3期	22/3期
資産の部			
流動資産	2,849	3,874	3,709
固定資産	4,879	4,284	4,100
有形固定資産	4,472	3,898	3,866
無形固定資産	79	19	7
投資その他の資産	327	366	226
資産合計	7,729	8,159	7,810

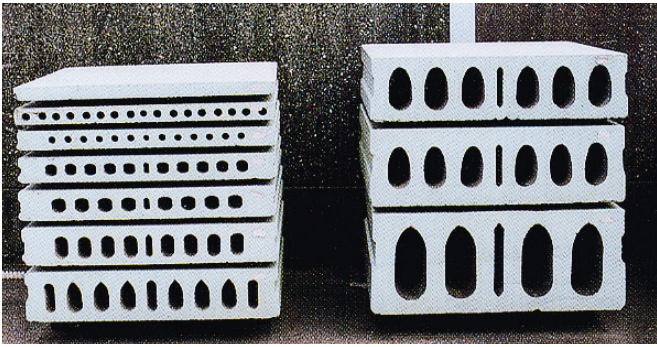
### 貸借対照表要旨 (負債・純資産の部)

(単位: 百万円)

	20/3期	21/3期	22/3期
負債の部			
流動負債	816	921	827
固定負債	417	439	428
負債合計	1,234	1,361	1,256
純資産の部			
株主資本	6,389	6,371	5,937
資本金	3,295	3,295	3,295
資本剰余金	3,010	3,010	3,010
利益剰余金	436	418	82
自己株式	△353	△353	△451
その他の包括利益累計額	105	426	394
その他有価証券評価差額金	98	136	105
土地再評価差額金	7	289	289
非支配株主持分	—	—	222
純資産合計	6,495	6,797	6,554
負債純資産合計	7,729	8,159	7,810



## スパンクリートとは



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

## スパンクリートの特長

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています



遮音性に優れています



## ESG・SDGsへの取り組み

### □グリーンイノベーション

『グリーンイノベーション基金事業』とは、2050年カーボンニュートラルの目標達成に向け、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）に2兆円の基金を造成し、官民で野心的かつ具体的な目標を共有し、これに経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する事業です。

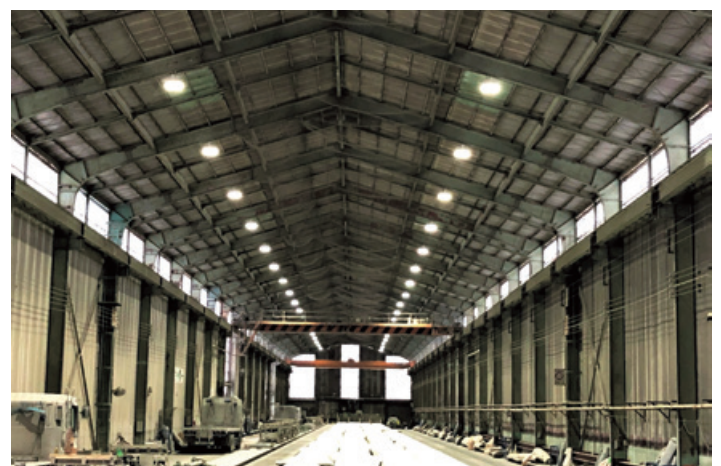
当社は、幹事会社（鹿島建設株式会社、株式会社デンカ、株式会社竹中工務店）が、NEDOより公募された『グリーンイノベーション基金事業/CO<sub>2</sub>を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト』のコンクリート分野における技術開発提案に民間企業の1社として参画いたします。

本プロジェクトは、CO<sub>2</sub>を吸着できる特殊なセメントを使用し製品をつくることで、社会課題である温室効果ガスの削減に貢献してまいります。

### □工場のLED化

工場生産ラインのLED照明化が2022年3月に完了し、電力コストとCO<sub>2</sub>排出量を削減いたしました。

引き続き環境保護への活動に努めてまいります。





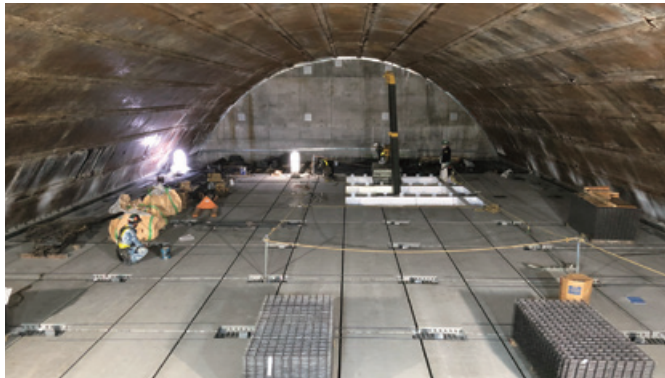
## 今期の主な実績



〈農業用水路〉床  
用水路の蓋かけとして  
水路幅に対して1枚の製品で設置出来る性能が評価されました



〈鉄道乗降場〉床  
耐久性、持久性が評価されており  
ホーム床に広く採用されております



〈鉄道・駅〉床  
地下トンネル内設備機器スペースの床  
地下30mから吊上げて施工いたしました



〈冷蔵倉庫〉合成床・外壁・間仕切壁  
東北沿岸部の冷蔵倉庫  
合成床、外壁、間仕切壁に使用されております



〈マンション〉合成床  
港区の54階建てタワーマンション  
各階に250mm厚の合成床が採用されました



〈庁舎〉合成床  
木造構造物とコンクリート合成床の融合です  
ぬくもりが感じられる仕上がりとなりました



岩瀬プレキャスト株式会社（IPC社）は、当社の工場インフラならびに製造技術と、東急建設株式会社の設計施工技術およびBIM\*との連携をはじめとしたデジタル製造管理技術、低炭素・高耐久コンクリートなどの環境技術のノウハウを融合したプレキャストコンクリート製造の合弁会社です。IPC社は、2022年4月にプレハブ建築協会の高度な品質を担保するN認定（設計基準強度60N/mm<sup>2</sup>以下）を取得いたしました。また生産性の向上を図るため、東急建設株式会社が展開するBIM モデル作成から鉄筋加工までのフロー自動化を目指したプロトタイプシステムの実証を岩瀬工場において実施しております。

\*BIM (Building Information Modeling Management) :3次元を利用した設計、施工生産、維持管理のO Aシステム

<主なプレキャスト製品例>

柱



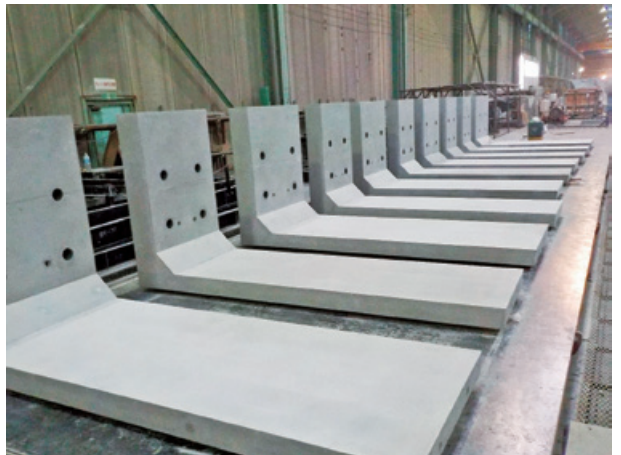
梁



ハーフバルコニー



その他（擁壁）



岩瀬プレキャスト(株)工場外観



## 会社の概要

1. 会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション  
(英文名) SPANCRETE CORPORATION
2. 設立 1963年(昭和38年)3月23日
3. 資本金 32億9,590万円(2022年3月31日現在)
4. 役員 代表取締役社長 村山典子  
常務取締役 柳田洋明  
\* 取締役 坪井哲明  
\* 取締役 蒲野宏之  
\*\* 常勤監査役 一瀬茂雄  
\*\* 監査役 鈴木誠  
\*\* 監査役 野澤弘史  
  
相談役 浮田聡  
(2022年6月23日現在)

\*は社外取締役です  
\*\*は社外監査役です

5. 事業所・本社 東京都文京区本郷2-40-8  
本郷三丁目THビル5階  
〒113-0033 TEL(03)5689-6311
- ・宇都宮工場 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5  
〒321-0905 TEL(028)661-2211
- ・岩瀬工場 茨城県桜川市岩瀬2161番地1  
(岩瀬プレキャスト(株)) 〒309-1211 TEL(0296)75-5711  
(2022年6月23日現在)

6. 取引銀行 みずほ銀行  
三菱UFJ銀行  
みずほ信託銀行

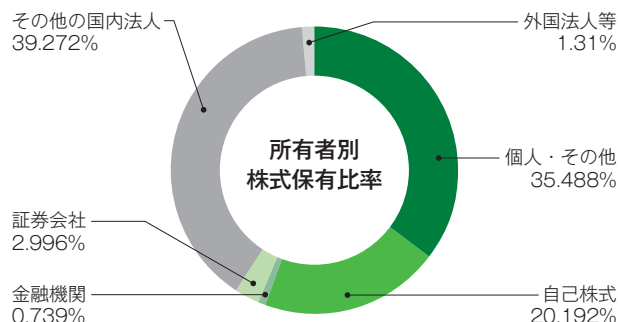
## 主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日建設計・(株)日本設計・(株)佐藤総合計画・(株)日建ハウジングシステム・東電設計(株)・(株)松田平田設計・(株)梓設計・(株)今川建築設計事務所・(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久米設計・(株)石本建築事務所 他
- 商社 三菱商事建材(株) 他
- 建設会社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)・東急建設(株)・(株)ピーエス三菱・鉄建建設(株)・(株)浅沼組 他

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 28,824,000株
- 発行済株式の総数 9,332,400株
- 自己株式 1,884,424株

## 株主構成



## 会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社(旧社名)設立  
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任  
7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
- 1970年 10月 宇都宮第2工場建設完了 生産開始
- 1976年 5月 JISA6511(空胴プレストレストコンクリートパネル)制定される
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得  
7月 宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得  
11月 資本金14億9,759万円に増資  
11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパンクリートコーポレーションに変更  
4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞  
9月 株式を公開(店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受章(スパンクリート合成床の発明考案など業務精励)
- 2003年 8月 Jスラブ(組立床工法)財団法人日本建築センターの構造評定を取得
- 2010年 7月 本社を文京区湯島に移転  
11月 生産設備を宇都宮工場に統合
- 2013年 6月 東日本旅客鉄道(株)とホームドア設置用床の共同特許取得
- 2015年 11月 コージェネレーションシステム導入
- 2018年 11月 PCa(プレキャストコンクリート)試験製造開始
- 2021年 4月 岩瀬プレキャスト(株)設立
- 2021年 6月 村山典子代表取締役社長就任  
10月 本社を文京区本郷に移転
- 2022年 4月 JASDAQより東証スタンダード市場に移行

## 大株主

- 1 三菱商事株式会社
- 2 日本スパンクリート機械株式会社
- 3 村山典子
- 4 日鉄SGワイヤ株式会社
- 5 村山知子
- 6 市原敏隆
- 7 株式会社紀文食品
- 8 楽天証券株式会社
- 9 高石文夫
- 10 INTERACTIVE BROKERS LLC



宇都宮工場